

成人のアレルギー性鼻炎における第2世代抗ヒスタミン薬院内フォーミュラリ

2024年8月8日 宮崎地震発生(臨時情報発令)
2024年9月 南海トラフ地震を意識し薬品卸各社に情報共有

監修 耳鼻咽喉科 小嶋 康隆 部長代行 (2021.11初版作成)
2026.4改訂

眠気を気にする

※高齢者はふらつきなどで転倒を起こすことがあるため慎重投与

第一選択薬

フェキソフェナジン塩酸塩錠60mg ← 症状軽い人, 眠気少ない
(先発品: アレグラ)
(21.6円/日) 2錠分2 朝・夕食後 ●
・水酸化アルミニウム・水酸化マグネシウム含有製剤と併用注意

増量しても効果が乏しい
又は飲み忘れが多い

デザレックス錠5mg

(33.4円/日) 1錠分1 ●●● 透析性×

ピラノアOD錠20mg【院外専】

(44.8円/日) 1錠分1空腹時 ●●● (中等度・重度) 透析性×

※デザレックス、ピラノアの増量は承認されていない

鼻閉にも効果有り

ディレグラ配合錠【院外専】

(98.8円/日) 4錠分2 朝・夕空腹時 ●●● 透析性×

- ・鼻閉症状が中等症以上の場合のみ
- ・2週間程度の最小限の期間に留めること
- ・水酸化アルミニウム・水酸化マグネシウム含有製剤と併用注意
- ・重度の高血圧、冠動脈疾患のある患者、閉塞隅角緑内障、尿閉、交感神経刺激薬による不眠、めまい、脱力、振戦、不整脈等の既往歴のある患者には禁忌。

フェキソフェナジン30mg +
プロピドエドリン
60mg (α刺激薬)
を配合

効果重視

第一選択薬

オロパタジン塩酸塩OD錠5mg ← 強力
(先発品: アレロック)

(21.6円/日) 2錠分2朝及び就寝前 ●●● (劇症肝炎の報告あり) 透析性×

ベポタスチンベシル酸塩錠10mg ← オロパタジンより
マイルド
抗PAF作用持つ
(先発品: タリオン)

(21.6円/日) 2錠分2朝・夕食後 ●●● 透析性○

飲み忘れが多い

レボセチリジン塩酸塩錠5mg ← 強力,ジレットの光学異性体,
食事の影響なく
安定して高い効果得られる
(先発品: ザイガル)

(13.4円/日) 1錠分1就寝前 ●●● 透析性×

デザレックス錠5mg ← クラリチンの代謝活性物,
個人差が小さい,
食事の影響なし

(33.4円/日) 1錠分1 ●●● 透析性×

ピラノアOD錠20mg【院外専】 ← 速く効いて強力
食事の影響あり

(44.8円/日) 1錠分1空腹時 ●●● (中等度・重度) 透析性×

※デザレックス、ピラノアの増量は承認されていない

鼻閉にも効果有り

ルパフィン錠10mg ← 抗PAF作用を併せ
持つ

(37.4円/日) 1錠分1 ●●● 透析性×

腎機能障害時 (腎機能正常者と同じ投与量)

アレジオン錠20mg

(15.9円/日) 1錠分1 ●●● 透析性×

エバステルOD錠10mg

(30.6円/日) 1錠分1 ●●● 透析性×

クラリチン錠10mg【院外専】

(25.9円/日) 1錠分1食後 ●●● 透析性×

※ () 内は1日薬価
2026.4時点

- クレアチニンクリアランスによって投与量の調節が必要。
- 重度腎機能障害患者は禁忌。 ●●● 腎機能障害患者は慎重投与。
- 自動車の運転等危険を伴う機械の操作には従事させない。
- 自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際には注意させること。
- 肝機能障害患者は注意。

上記薬剤使用にも関わらず改善に乏しい場合、耳鼻咽喉科コンサルテーションを検討する。

病型、重症度をもとに用いる薬剤を選択すること。

また、抗ヒスタミン薬の有用性には個人差があるため、既存薬で効果が得られている場合にはこの限りではない。